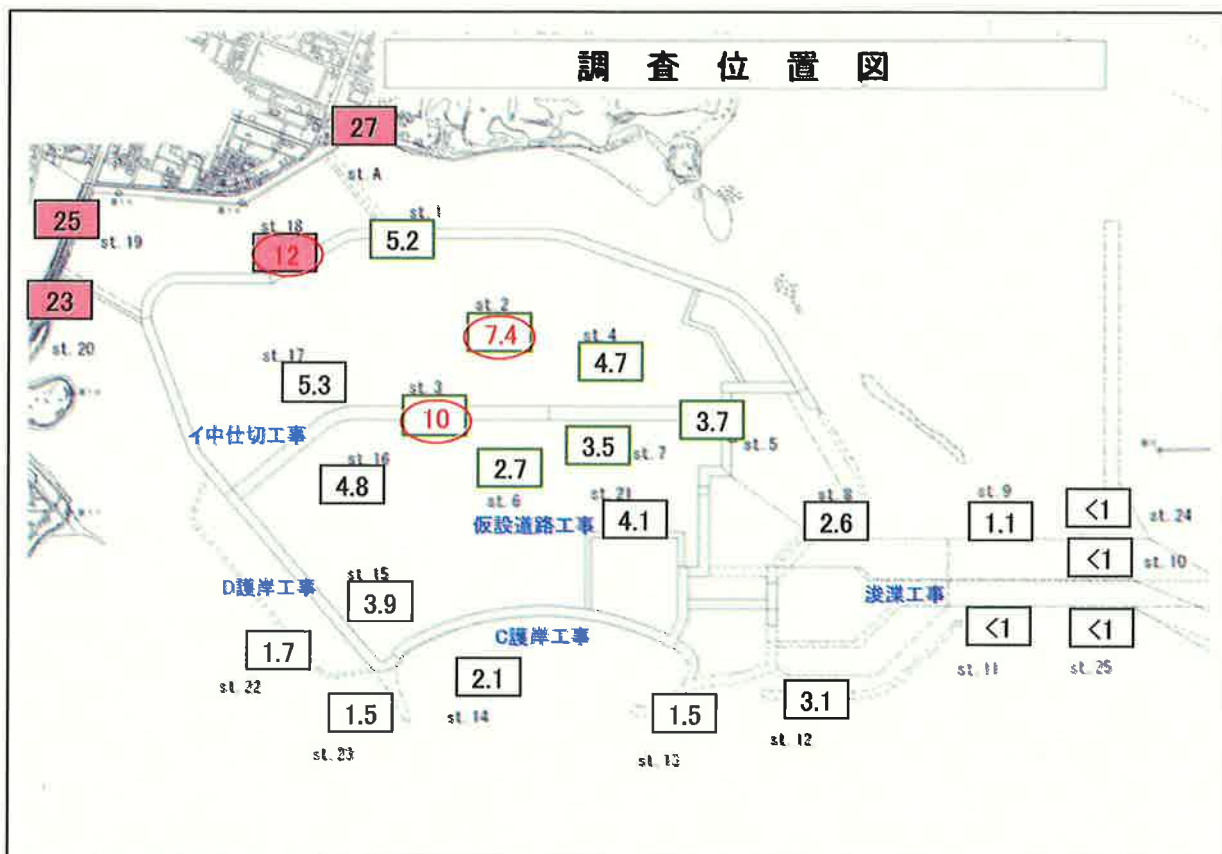


数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 9月 1日 (土) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	SE ~ S	1 ~ 3	干潮	



濁り(SS)監視基準

- クビレミド口監視地点 st.1~4 7mg/L

 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.5~7 11mg/L

 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・土のう運搬・設置
	D護岸工事	・捨石投入
	C護岸工事	・C護岸復旧
	浚渫工事	・仮設道路復旧
	仮設道路工事	・土のう製作・据付

数値基準を超過した調査区域の状況

St.1.3.16.17にかけて薄茶色の濁りが広がっているのが確認された。

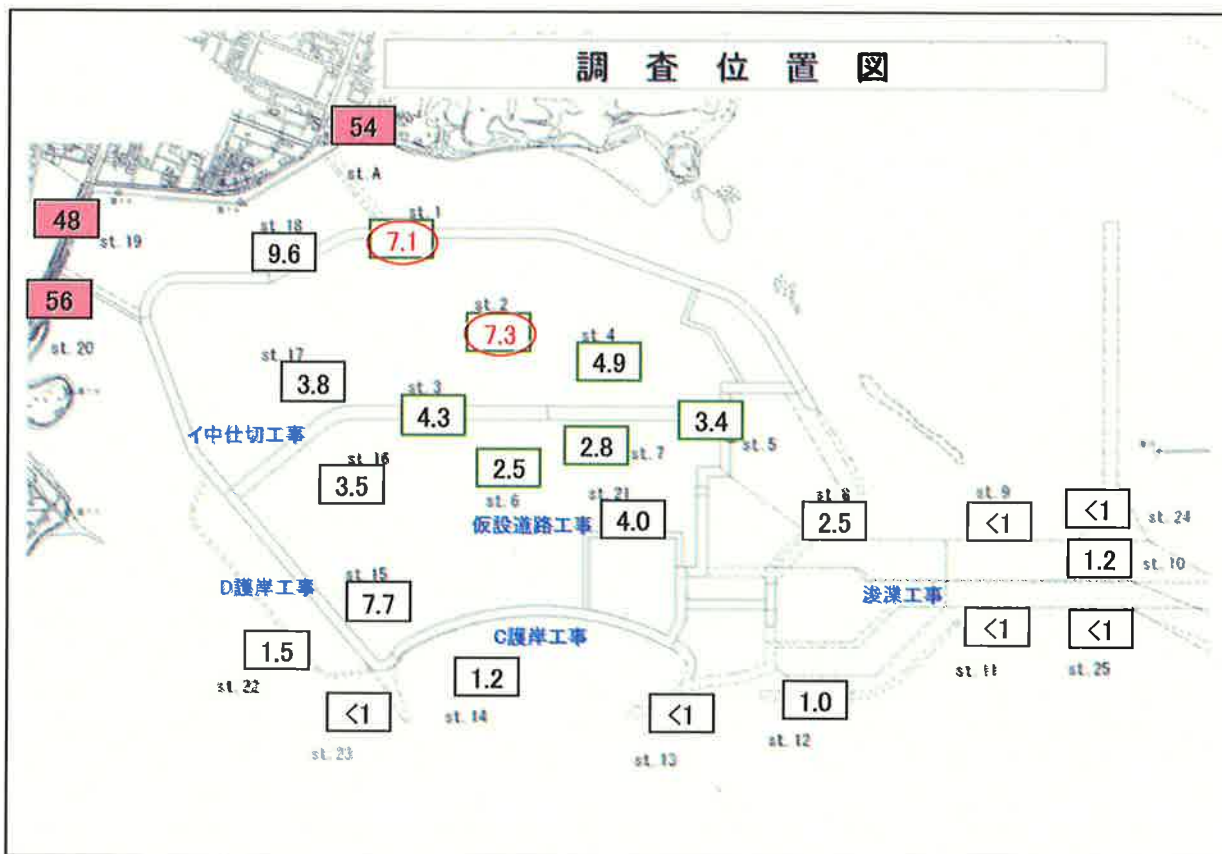
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は干潮時に調査を行なったため、水深が浅く(St.2.3ともに0.6m)低潮位時に底質が巻き上がったことが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 9月 3日 (月) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	SE ~ S	0 ~ 1	下げ潮	2時頃に強い降雨があった。



濁り(SS)監視基準

- クビレミド口監視地点

st.1~4	7mg/L
st.5~7	11mg/L

○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
- 工場の濁り監視地点

st.8~18, 21~25	11mg/L
----------------	--------

■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
(st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工場の状況	イ中仕切工事	・土のう運搬・設置
	D護岸工事	・捨石投入
	C護岸工事	・C護岸復旧
	浚渫工事	・仮設道路復旧
	仮設道路工事	・土のう製作・据付

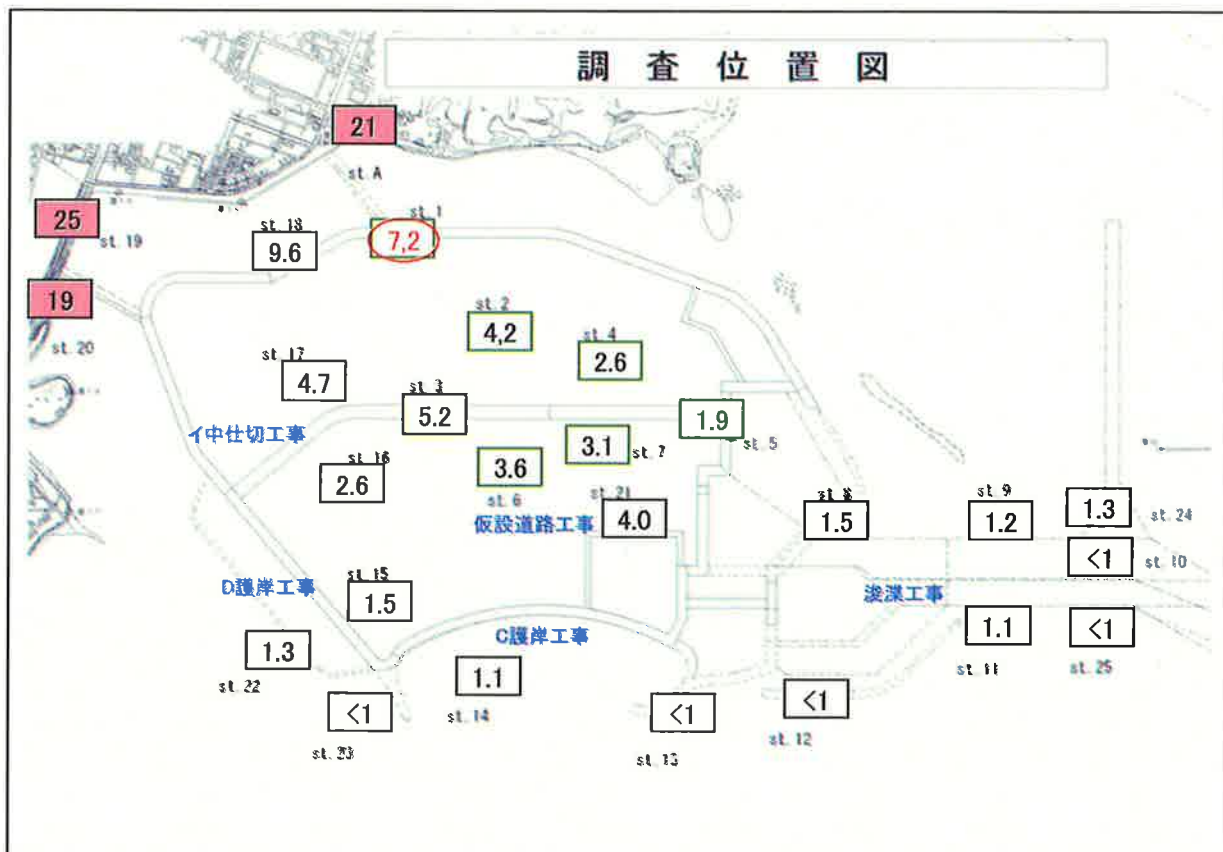
数値基準を超過した調査区域の状況
St.1.2.18にかけて薄茶色の濁りが確認された。

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 基準値を超過した要因は12時頃の強い降雨(胡屋観測所では3mm)により、濁水が流入部から流入したことが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 9月 7日 (金) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	NNW	1 ~ 3	上げ潮	



濁り(SS)監視基準

- クビレミド口監視地点 st.1~4 7mg/L 7.2 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.8~18, 21~25 11mg/L 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19, 20, Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・土のう設置、裏埋材投入
	D護岸工事	・土のう設置
	C護岸工事	・C護岸復旧
	浚渫工事	・海上作業はなし
	仮設道路工事	・土のう製作・設置

数値基準を超過した調査区域の状況

St.1周辺から沖に向かって白濁が確認された。流入部St.Aも同様の白濁がみられたことから、その影響が考えられる。

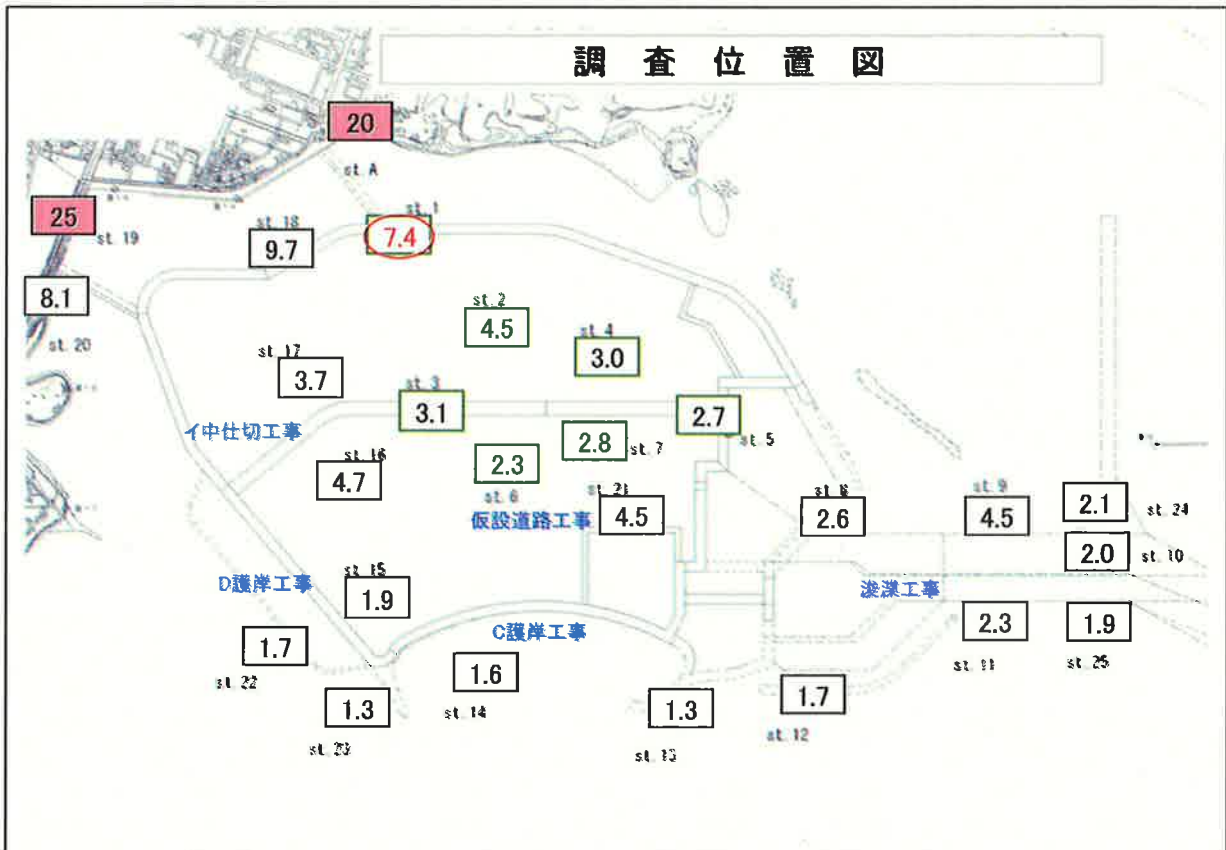
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は濁水が流入部から流入した濁りが、上げ潮により滞留したことが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 9月 11日 (火) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	NNW ~ N	1 ~ 3	上げ潮	午前中に降雨があった。



濁り(SS)監視基準

- クビレミド口監視地点
 - st.1~4 7mg/L
 - st.5~7 11mg/L
 - 工事の濁り監視地点
 - st.8~18, 21~25 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19, 20, Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・土のう設置
	D護岸工事	・土のう設置、帆布設置
	C護岸工事	・既設C護岸復旧
	浚渫工事	・海上工事はなし
	仮設道路工事	・土のう製作、据付

数値基準を超過した調査区域の状況

流入部周辺の海域でもっとも濁りが強くやや白色であった。測定時が干潮時に近く風も強いため、海底の砂が巻き上がったためと思われる。

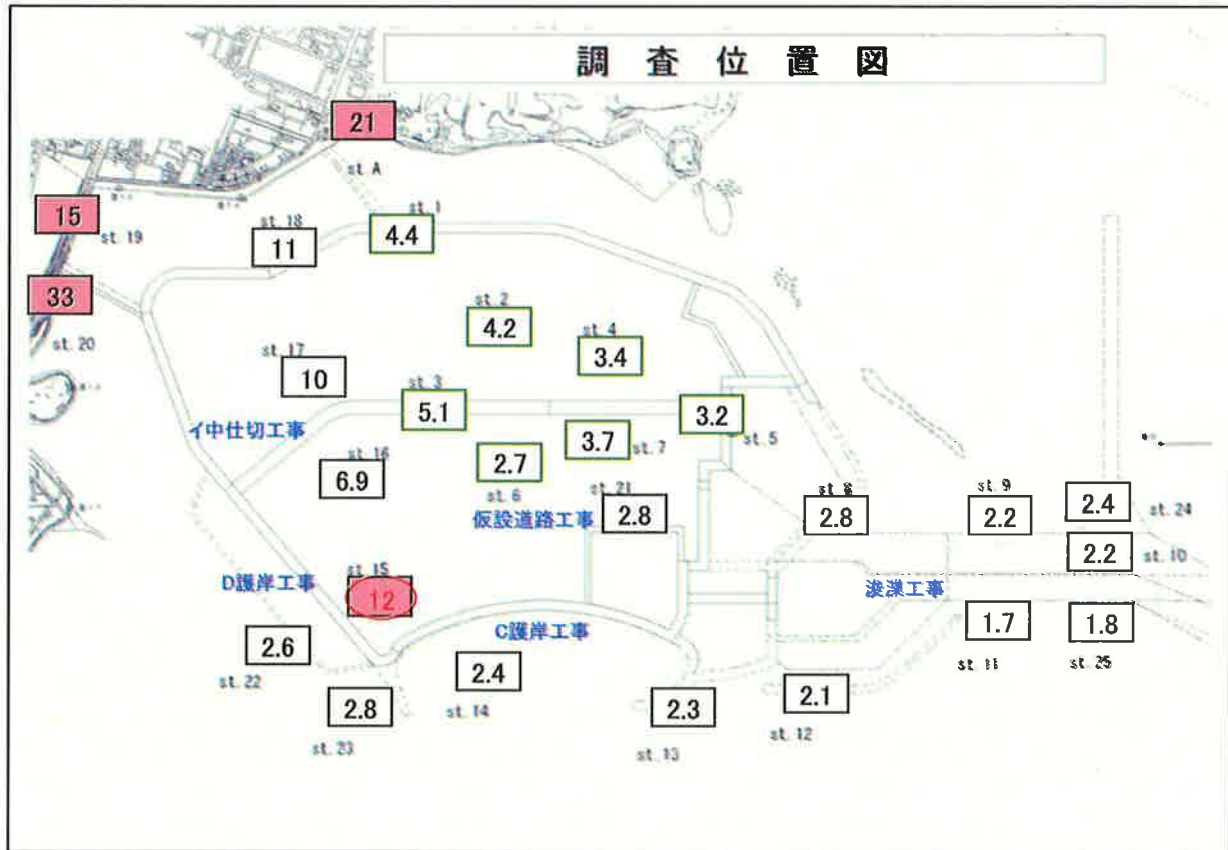
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は強風や低潮位時による底質の巻き上げや、流入水路からの濁水の流入などが考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19 年 9 月 30 日 (日) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	ENE ~ E	3 ~ 4	干潮	



濁り(SS)監視基準

- クビレミド口監視地点
 - st.1~4 7mg/L
 - st.5~7 11mg/L
 - 工事の濁り監視地点
 - st.8~18, 21~25 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・作業はなし
	D護岸工事	・土のう設置
	C護岸工事	・作業はなし
	浚渫工事	・汚濁防止膜搬入・設置
	仮設道路工事	・作業はなし

数値基準を超過した調査区域の状況

st.15、16では砂を巻き上げたような淡泊色の濁りがみられた。

評価

自主管理濁度測定値(基土木)は上層から3.5、3.5、3.4であった。
 st.15、16は深場の位置にあり、下層に濁りが滞留しやすいことから、基準値を超過した要因は強風や下げ潮により深場に濁りが滞留したと考えられる。